

近代軍用輸送機の祖

# メッサーシュミット Me323ギガント

## ドイツ航空機

Deutsche Kleine Flugzeug

### 観音開きの貨物扉

軽戦車が乗り降りできる大きさを持ち、主輪が低い位置にあるので貨物室の床面も低く、積み下ろしをしやすい。

**DATA** 乗員5名、全幅55.2m、全長28.2m、全高9.6m、重量29.5t、最大速度285km/h、航続距離1,100km、武装13mm機銃×5(20mm機関砲搭載型もあり)、積載量20t



もともとは大型の輸送グライダーだったが、巨大すぎて曳航が難しかったため、占領下フランスで入手し易かったノーム・ローンエンジンを6発装備して輸送機となった。機体は羽布張りという前時代的な構造であるが、前部を開閉式扉にして荷物を積載できるなど発想は先進的で、後の大型輸送機に影響を与えた。198機が生産されている。

### ソ連戦闘機の餌

# ユンカース Ju52/3m

1930年代に旅客機として開発され、終戦まで使われたドイツ軍主力輸送機。ヒトラー専用機として遊説のためにドイツ中を飛び回り、スペイン内戦では爆撃機として使われた。独ソ戦の頃には旧式となっていたが、スターリングラード戦では包囲された部隊への補給任務に駆り出された。低速で防御火器も貧弱なので、ソ連戦闘機に狙われたら生き残れなかった。



**DATA** 乗員3名、全幅29.2m、全長18.9m、全高6.1m、重量9.2t、最大速度265km/h、航続距離870km、輸送人員17名、武装13mm機銃×1、7.92mm機銃×2

### 鋼管フレーム&ジュラルミン波板

羽布の代わりにジュラルミンの波板を張った構造で、重量効率が悪い。固定脚なのも相まって、最大速度は300km/hにも達しなかった。

第6軍には大きな負担だった。ドイツ空軍には大きな負担だった。ヨーロッパ中からかき集めたのはJu 52/3Mなどの輸送機だけでなく、He 111双発爆撃機、He 117四発爆撃機まで引っぱり出された。ソ連軍戦闘機や対空砲で包囲された飛行場への離着陸自体簡単なことではなく多くの損害を出した。パイロット育成を担うはずの飛行学校の機材と教官まで動員されて消耗させることによりドイツ空軍が弱体化する要因ともなった。

第6軍は1日あたり700t、最低でも300tの補給を求めた。しかし実際に空輸できたのは平均110t、最低量を運べたのはわずか1日のみという有様だった。この空輸量を確保するのさえ、ドイツ空軍には大きな負担だった。ヨーロッパ中からかき集めたのはJu 52/3Mなどの輸送機だけでなく、He 111双発爆撃機、He 117四発爆撃機まで引っぱり出された。ソ連軍戦闘機や対空砲で包囲された飛行場への離着陸自体簡単なことではなく多くの損害を出した。パイロット育成を担うはずの飛行学校の機材と教官まで動員されて消耗させることによりドイツ空軍が弱体化する要因ともなった。

1942年の東部戦線上空は、引き続きドイツが制空権を確保していた。ドイツが得意とする陸軍と空軍の協調も順調に行われたものの、市街戦ではその効果は限られていた。長引く包囲戦は空軍力も確実に消耗させていた。

1942年11月〜1943年1月にドイツ第6軍がソ連軍に包囲された時、空軍司令官ゲーリング元帥が空輸による補給を保証するという見得を切ったことが第6軍にもドイツ空軍にも大きな痛手を負わせることになる。

## ゲーリングが約束した「大空輸作战」の結末